

# BDP-LX91 の機能追加に関するご案内

取扱説明書の内容に加えて、いくつかの機能が追加されます。本資料では、追加される機能について説明します。また、付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

以下の機能が追加になります。

- DTS-HD の音声出力
- クロスオーバー周波数
- BD-LIVE

## DTS-HD の音声出力

BD-ROM に記録されている DTS Digital Surround、DTS-HD(DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) の出力が変更になります。

- 機能追加前は、DTS-HD はそれらに含まれている DTS Digital Surround をリニア PCM またはアナログ音声に変換して出力していました。機能追加後は、DTS-HD をリニア PCM またはアナログ音声に変換して出力します。
- 7.1 チャンネルのスピーカーシステムでご使用の場合、DTS Digital Surround が最大 7.1 チャンネルで出力されます。

詳細については以下の表をご覧ください。

**太字部**が変更点です。

音声の種類	[音声出力 (7.1ch)] 端子		[デジタル音声出力 (同軸 / 光)] 端子		[HDMI 出力 (MAIN)] 端子	
	2 チャンネル *1	マルチチャンネル *1	リニア PCM 音声 に変換する *2	リニア PCM 音声 に変換しない *3	PCM *4	自動 *4
BD-ROM	DTS Digital Surround				<b>7.1 チャンネル 音声</b>	DTS Digital Surround *6,8
	DTS-HD High Resolution Audio	2 チャンネル 音声に変換	2 チャンネル 音声に変換	DTS Digital Surround *5	<b>7.1 チャンネル 音声 *7</b>	DTS-HD High Resolution Audio *6,7,8
	DTS-HD Master Audio					DTS-HD Master Audio *6,8,9

※ 1 [音声出力モード] が [2 チャンネル] または [マルチチャンネル] に設定されているとき。

※ 2 [DTS 出力] が [DTS → PCM] に設定されているとき。

※ 3 [DTS 出力] が [DTS 1]/[DTS 2] に設定されているとき。

※ 4 [HDMI 音声出力] が [PCM] または [自動] に設定されているとき。

※ 5 [DTS 出力] が [DTS 2] に設定されていると、DTS Digital Surround のビットストリームで出力しているとき、第 2 音声 (セカンダリオーディオ)、インタラクティブオーディオは混合されません。

※ 6 DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio、または DTS Digital Surround をビットストリームで出力しているとき、第 2 音声 (セカンダリオーディオ)、インタラクティブオーディオは混合されません。

※ 7 出力解像度を 480i または 480p に設定すると、[HDMI ハイスピード伝送] の設定または接続している HDMI 機器によっては、リニア PCM 2 チャンネルで出力されることがあります。

※ 8 接続している HDMI 機器が DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio のビットストリームに対応していないときは、リニア PCM 7.1 チャンネルまたは DTS Digital Surround のビットストリームで出力されます。接続している HDMI 機器が DTS Digital Surround のビットストリームに対応していないときは、リニア PCM で出力されます。

※ 9 出力解像度を 480i または 480p に設定すると、[HDMI ハイスピード伝送] の設定または接続している HDMI 機器によっては、リニア PCM 2 チャンネルまたは DTS Digital Surround のビットストリームで出力されることがあります。

### ！ ご注意

- 音声端子として選んだ端子以外のすべての端子からの出力は、コンテンツ製作者の意図したようには聞こえないことがあります。

- 米国特許 5451942 号、5956674 号、5974380 号、5978762 号、6226616 号、6487535 号、7392195 号、7272567 号、7333929 号、7212872 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS は DTS 社の登録商標であり、また、DTS のロゴ、記号、DTS-HD および DTS-HD Master Audio | Essential は DTS 社の商標です。©1996-2008 DTS 社 不許複製。

## クロスオーバー周波数

スピーカー設定でクロスオーバー周波数の設定が可能になります。

クロスオーバー周波数は、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーの低音域の何 Hz 以下をサブウーファーまたは L/R に振り分けて出力するか、また LFE (もともとサブウーファーに出力するチャンネル) の何 Hz までを出力するかを設定します。

## クロスオーバー周波数を変更する

- スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがないときは、クロスオーバー周波数は [バイパス] を選んでください。
- スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがあるときは、クロスオーバー周波数を選んでください (バイパスは選べません)。
- 取扱説明書の「詳細設定」、「スピーカーの設定を変更する」もあわせてご覧ください。

### 1 停止中にホームメニューを表示する

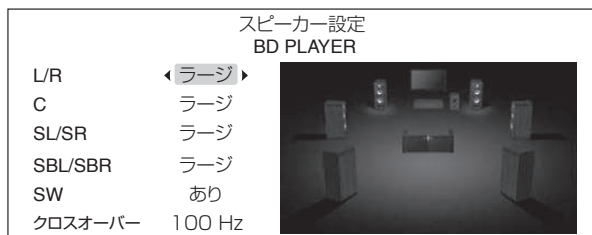
🏠 ホームメニューボタンを押します。

### 2 [本体設定] → [スピーカー] → [スピーカー設定] → [次画面へ] を選ぶ

↑/↓ ボタンで選んで、決定ボタンを押します。

### 3 クロスオーバーを選んで設定を変更する

↑/↓ ボタンで選んで、←/→ ボタンで設定を変更します。



- **クロスオーバー** … バイパス / 50 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 150 Hz

#### お知らせ

- フィルターをバイパスする機能のあるサブウーファーを接続して、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがないときは、サブウーファー側のフィルタをバイパスに設定すると、本機の高精度なデジタルフィルタを使用できます。このようなとき、クロスオーバー周波数は [バイパス] 以外に設定してください。
- クロスオーバー周波数の初期値は [100 Hz] に設定されています。
- 機能追加前は、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがあるときは [100 Hz] で、ないときは [バイパス] で動作していました。

## BD-LIVE

BD-ROM Profile 2 に対応します。これにより BONUSVIEW 機能に加え、BD-LIVE 機能にも対応します。インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声 / 字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどの BD-LIVE 機能が楽しめます。BD-LIVE 機能でダウンロードした追加データ (予告編映像など) は、本機の内蔵メモリー (4GB) に記憶します。BD-LIVE 機能についてはディスクの説明書をご覧ください。



- ◆ “BD LIVE” ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。
- BD-LIVE 機能を楽しむときは、インターネットにつながっているイーサネットハブ (またはハブ機能付きルーター) と本機を接続してください。
- ネットワークの接続については、取扱説明書の「ネットワークに接続する」をご覧ください。

## BD の追加データを消去する

本機の内蔵メモリーがいっぱいになると、BD の追加データ (BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータや BONUSVIEW 機能で使用するデータ) がダウンロードできなくなります。内蔵メモリーの記憶領域が不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、[本体設定] の [BDMV データ消去] で追加データを消去してください。

#### ⚠️ ご注意

- BDMV データ消去を実行すると、BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータや BONUSVIEW 機能で使ったデータ、BD-ROM のアプリケーションデータ (ゲームのハイスコアやブックマーク情報など) を消去します。
- BDMV データ消去には時間がかかります。
- 消去中は電源コードを抜かないでください。

### 1 ホームメニューを表示する

🏠 ホームメニューボタンを押します。  
ディスクが入っているときは操作できません。

### 2 [本体設定] → [オプション] → [BDMV データ消去] → [次画面へ] を選ぶ

↑/↓ ボタンで選んで、決定ボタンを押します。

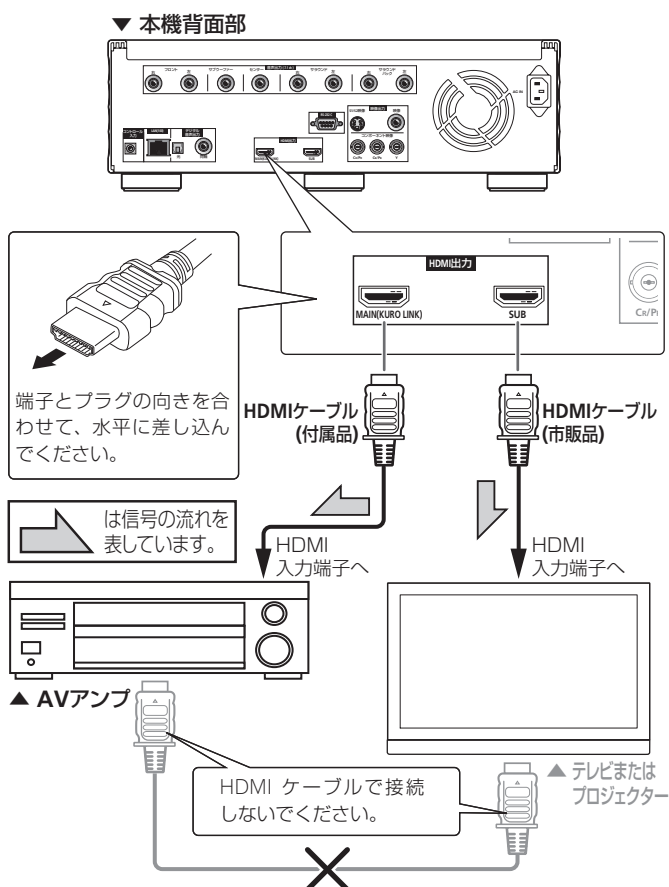
### 3 データを消去する

←/→ ボタンで [はい] を選んで、決定ボタンを押します。

## 故障かな?と思ったら

- **BD-LIVE 機能 (BD のインターネット接続) が使えない。**
  - ▶ 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の「ソフトウェア更新」と同様の確認を行ってください。
  - ▶ 前ページの「BD の追加データを消去する」を行ってください。
- **BD-LIVE に対応したディスクを読み込むときに「BD のインターネット接続を許可しますか?」と表示される。**
  - ▶ インターネット接続の安全性に懸念があるディスクで表示されます。通常は「いいえ」を選んでください。インターネット接続を許可するときは「はい」を選んでください。
  - ▶ BD-Live に非対応のディスクでも表示されることがあります。

## その他 (よくあるお問い合わせ)



### 取扱説明書の [ 接続 ]、[ AV アンプと接続する ] の [ より良い音を楽しむためには ] での接続図について

Q 「HDMI ケーブルで接続しないでください。」の部分に接続したい。

A 接続するときは以下のことに注意してください。

- ① 音質に影響することがあります。
- ② テレビの KURO LINK 機能をオフに設定してください。
  - KURO LINK 機能によってテレビの入力が HDMI MAIN 側に切り換わってしまうことがあります。
  - テレビでオフできないときは本機の KURO LINK をオフに設定してください。ただし PQLS が機能しなくなります。
- ③ 接続機器によっては誤動作することがあります。誤動作するときは、接続を外してください。